

組立式屋外収納ユニット

ヨド自転車置場

YOKC型組立説明書

●組立前によく読んでください。

YOKCS-280 (A) MA 積雪地用
YOKCS-245 (A) MA

設置場所の制限

- ⚠ 注意
- この商品は、積雪荷重3000N/m²(300kgf/m² 積雪約100cm相当)で設計されております。それ以上の積雪が見込まれる地域での設置は絶対に避けてください。
 - 建物の屋上には設置しないで下さい。
 - 避難通路にある場所には設置しないで下さい。
 - 大屋根からの雨や雪が、直接自転車置場の屋根に落ちる場所には設置しないで下さい。
 - 崖のふち・風当たりの強い場所等、安全の確認が出来ない場所には、設置しないで下さい。
 - 給湯器の前には設置しないで下さい。

組立施工の際には

- ⚠ 注意
- 転倒防止、基礎工事を必ず行ってください。
 - 柱等の重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 柱は自立させないので、添え木を用いる等、倒れない工夫を行って組み立ててください。
 - 仮預けの無い部材がありますので、部材の落下等によるけがに注意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等、安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。
- 転倒の恐れがありますので母屋等にはぶらさがらないでください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
3. 部材は全て銅板製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
(安全のため必ず手袋を着用してください。)
4. 部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立ってください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 製造及び施工に対する保険について
BL証紙が貼付されている商品には、製造及び施工についてBL保険が付加されています。詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.blhp.org/>)や当社のホームページをご覧ください。
- 施工方法・納まりについて
基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

●梱包部材表ヨド自転車置場YOKC型棟合せ積雪地用

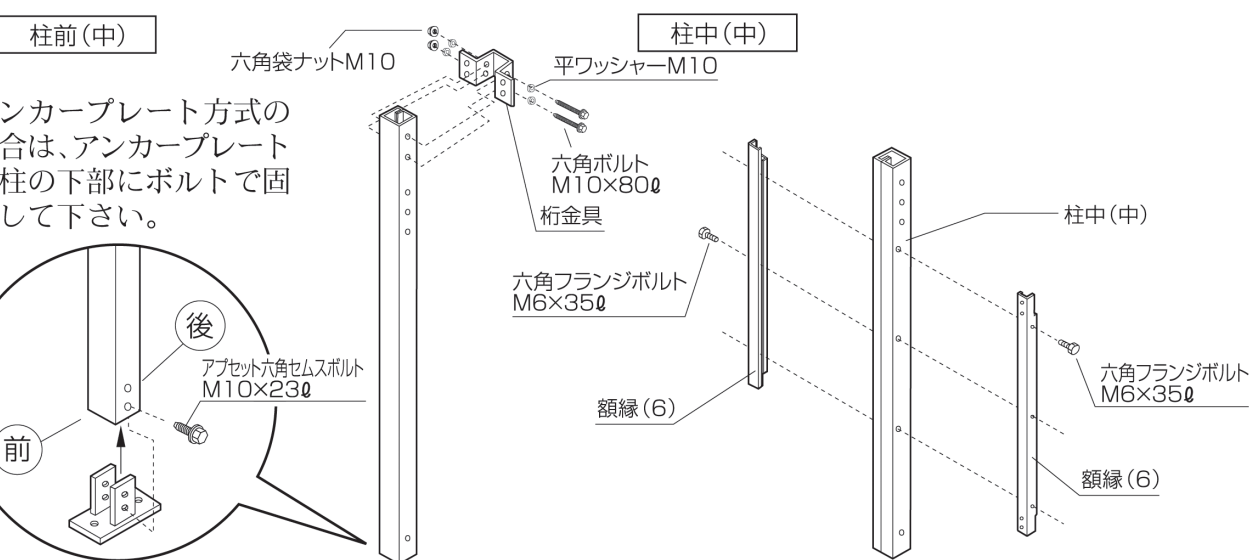
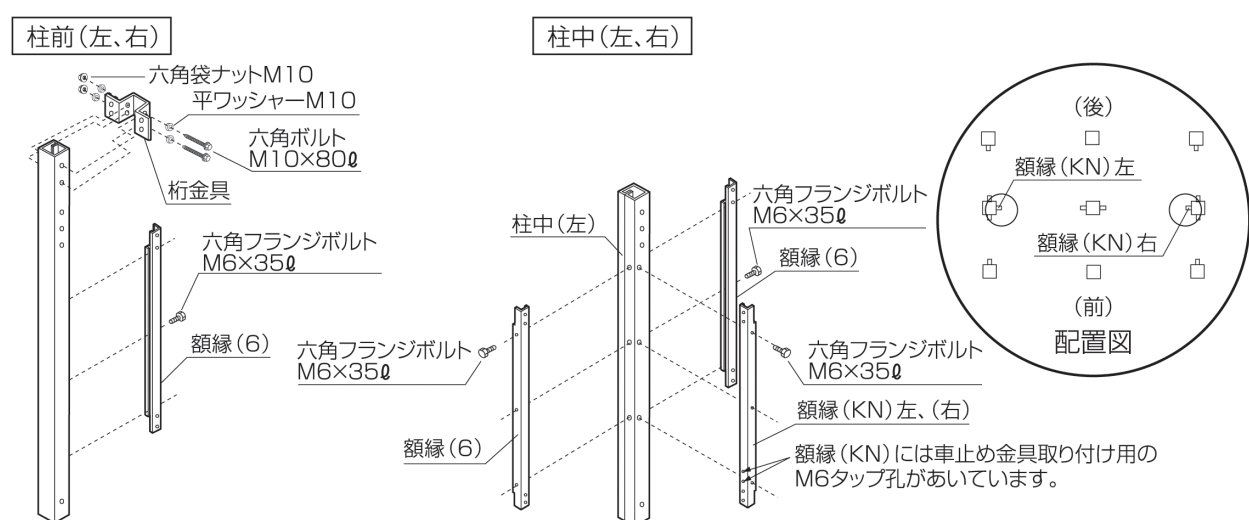
梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数 量	梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数 量		
KC1-0-441	柱前MA	柱 前 (K M) 左	2	KC1-0151	部品組SMA梱包	桁 金 具 (K N) 1	12		
		柱 前 (K M) 右	2			プ レ ー ト	8		
KC1-0-441A	柱前A MA	柱 前 (K M) 左A	2			プ レ ー ト (4)	4		
		柱 前 (K M) 右A	2			束 金 具 (K S)	4		
KC1-0-432	柱中SA・MA	柱 中 (K N) 左	1			束 金 具 (K N) MA	4		
		柱 中 (K N) 右	1			屋根受けフレーム(1)	54		
KC1-0-432A	柱中A SA・MA	柱 中 (K N) 左A	1			屋根受けフレーム(2)	6		
		柱 中 (K N) 右A	1			屋根受けフレーム(2)	6		
KC1-0-447	柱連結MA	柱 前 (K M) 中	2			水 上 面 ユ 6	20		
		柱 前 (K M) 中A	2			SN間柱前固定金	16		
KC1-0-447A	柱連結A MA	柱 前 (K M) 中	2			桁キヤップ(KN)左	6		
		柱 前 (K M) 中A	2			桁キヤップ(KN)右	6		
KC1-0-651	胴縁・梁S・MA	胴 縁 (K N) 側	4			車止めブラケット(1)	3		
		梁 (K S) MA	2			車止めブラケット(4)	3		
KC1-0-511	桁S28	桁 (K S) 2 8 左	3			KC1-0152	部品組SMA梱包	組 立 説 明 書	1
		桁 (K S) 2 8 右	3					取 扱 説 明 書	1
KC1-0-516	桁S24	桁 (K S) 2 4 左	3					銘 板	1
		桁 (K S) 2 4 右	3					補修スプレー(小)	1
KC1-0-512	桁S左28	桁 (K S) 2 8 左	3					六角ボルトM10×804	51
		桁 (K S) 2 4 左	3					六角袋ナットM10	51
KC1-0-513	桁S右24	桁 (K S) 2 8 右	3	平 ワッ シ ャ ム	102				
		桁 (K S) 2 4 右	3	アバウト溝はし込みM10×234	81				
KC1-0-518	桁S右24	桁 (K S) 2 4 右	3	六角フランジナットM10	49				
		桁 (K S) 2 8 右	3	六角フランジナットM6×354	31				
KC1-0-514	桁S中28	桁 (K S) 2 8 中	3	アバウト溝はし込みM6×184	89				
		桁 (K S) 2 4 中	3	六角フランジナットM6×454	7				
KC1-0-519	桁S中24	桁 (K S) 2 8 中	3	六角フランジナットM6	7				
		胴 縁 B	1	鉋先ボルトM6×994	67				
KC1-0-636	胴縁28	胴 縁 B 下	1	六 角 ナ ッ ト M 6	67				
		車止めパイプ28	2	山座M6.5×25×1.2	67				
KC1-0-666	胴縁24	胴 縁 C	1	ウール/ビキ/W1/4小波	87				
		車止めパイプ24	2	ナベテックS4φ×134	80				
KC1-0-637	胴縁左下28	胴 縁 B 左	1	KC1-0152	部品組SMA梱包	パイロントナット34φ×104	13		
		胴 縁 C 左	1			鉄筋10φ×3504	63		
KC1-0-667	胴縁左下24	胴 縁 C 左	1			フラインジバット3.2φ	63		
		車止めパイプ24	2			桁 金 具 (K N)	1		
KC1-0-638	胴縁右下28	胴 縁 B 右	1			プ レ ー ト (4)	2		
		胴 縁 C	1			束 金 具 (K S)	2		
KC1-0-668	胴縁右下24	胴 縁 C 右	1			束 金 具 (K N) MA	2		
		車止めパイプ24	2			屋根受けフレーム(1)	48		
KC1-0-639	胴縁中下28	胴 縁 B 中	1			水 上 面 ユ 6	16		
		車止めパイプ28	2			車止めブラケット(1)	1		
KC1-0-669	胴縁中下24	胴 縁 C 中	1			車止めブラケット(2)	2		
		車止めパイプ24	2			車止めブラケット(4)	1		
KC1-0-632	間柱SA・MA	間 柱 (K N) 背	1			六角ボルトM10×804	25		
		額 縁 (K N) 左	1			平 ワッ シ ャ ム	10		
KC1-0-456	柱連結S MA	額 縁 (K N) 右	1			アバウト溝はし込みM10×234	40		
		柱 中 (K N) 中	1			六角フランジナットM10	24		
KC1-0-456A	柱連結SA MA	梁 (K S) MA	2			六角フランジナットM6×354	7		
		間 柱 (K N) 背	1			アバウト溝はし込みM6×184	20		
KC1-0-456A	柱連結SA MA	額 縁 (6)	2			六角フランジナットM6×454	6		
		柱 中 (K N) 中A	1			六角フランジナットM6	6		
KC1-0-456A	柱連結SA MA	梁 (K S) MA	2	鉋先ボルトM6×994	48				
		間 柱 (K N) 背	1	六 角 ナ ッ ト M 6	48				
KC1-0-456A	柱連結SA MA	額 縁 (6)	2	山座M6.5×25×1.2	48				
		柱 中 (K N) 中A	1	ウール/ビキ/W1/4小波	48				

組立順序

ボルトは使用する部材にあわせて色のボルトを使用して下さい。

1 桁金具・額縁の取付け

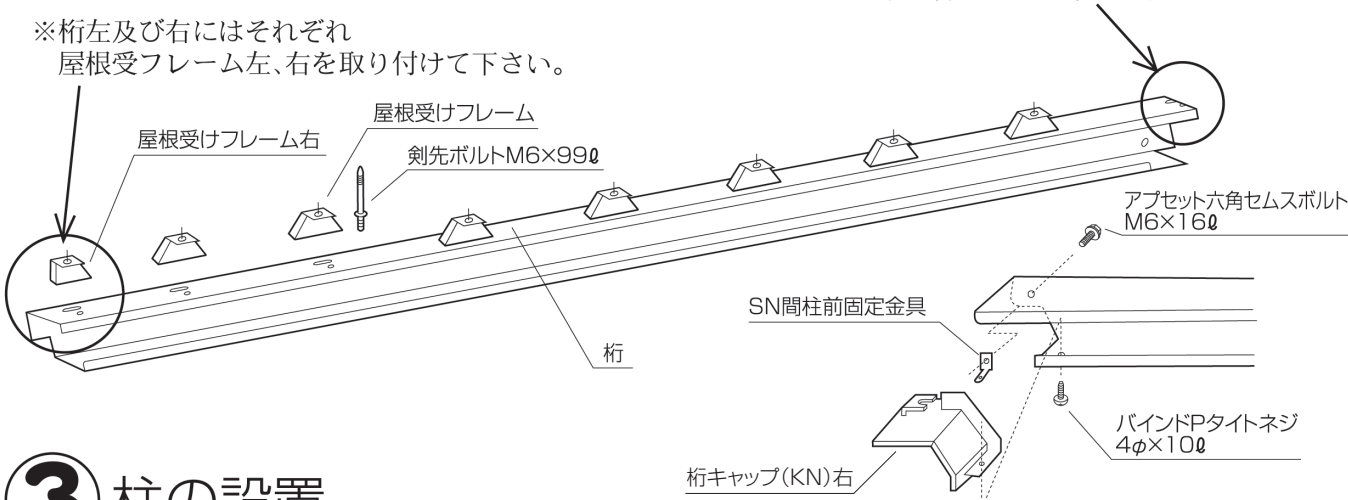
1. 各柱に額縁をボルトで固定します。柱中(左、右)は、額縁(6)と額縁(KN)を取り付けます。それぞれの向きを図で確認して間違いはないようにして下さい。(各柱に取り付ける部材は、下図を参考にして下さい。)



2 屋根受けフレーム・桁キャップの取付け

1. 桁に屋根受けフレームを取り付けます。
2. 桁の両端に桁キャップを取り付けます。

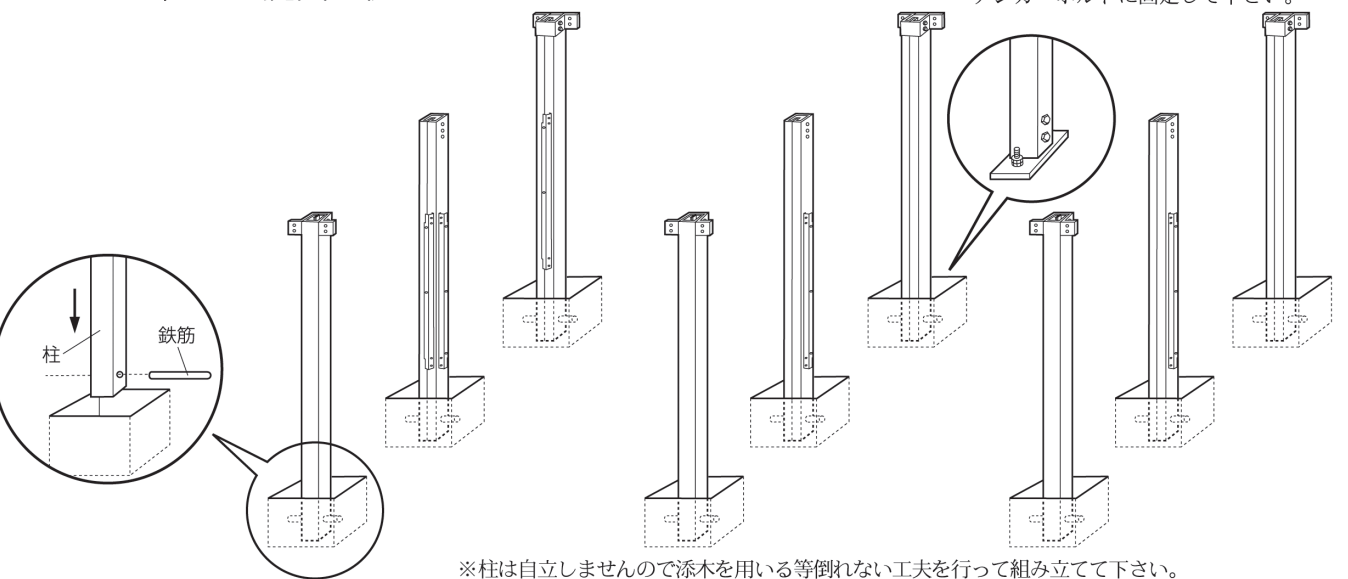
※連結部には屋根受けフレームを取り付けしないで下さい。



3 柱の設置

1. 柱脚部の穴に鉄筋を差込みます。
2. 柱を基礎図に従い立てます。

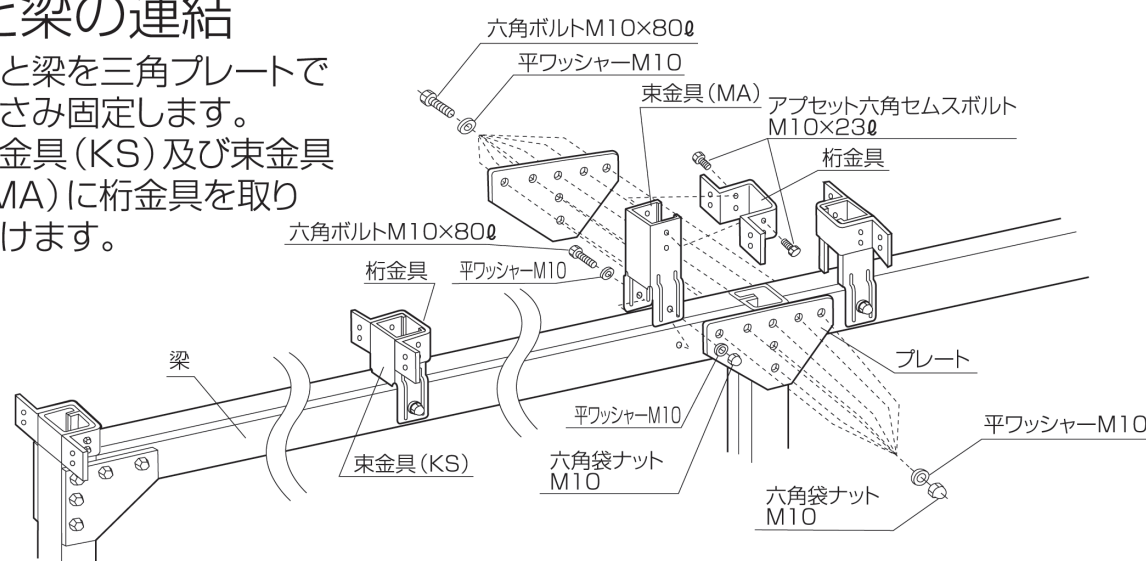
※アンカープレート方式の場合はアンカープレートを基礎から出ているアンカーボルトに固定して下さい。



※柱は自立しませんが、漆木を用いる等倒れない工夫を行って組み立てて下さい。

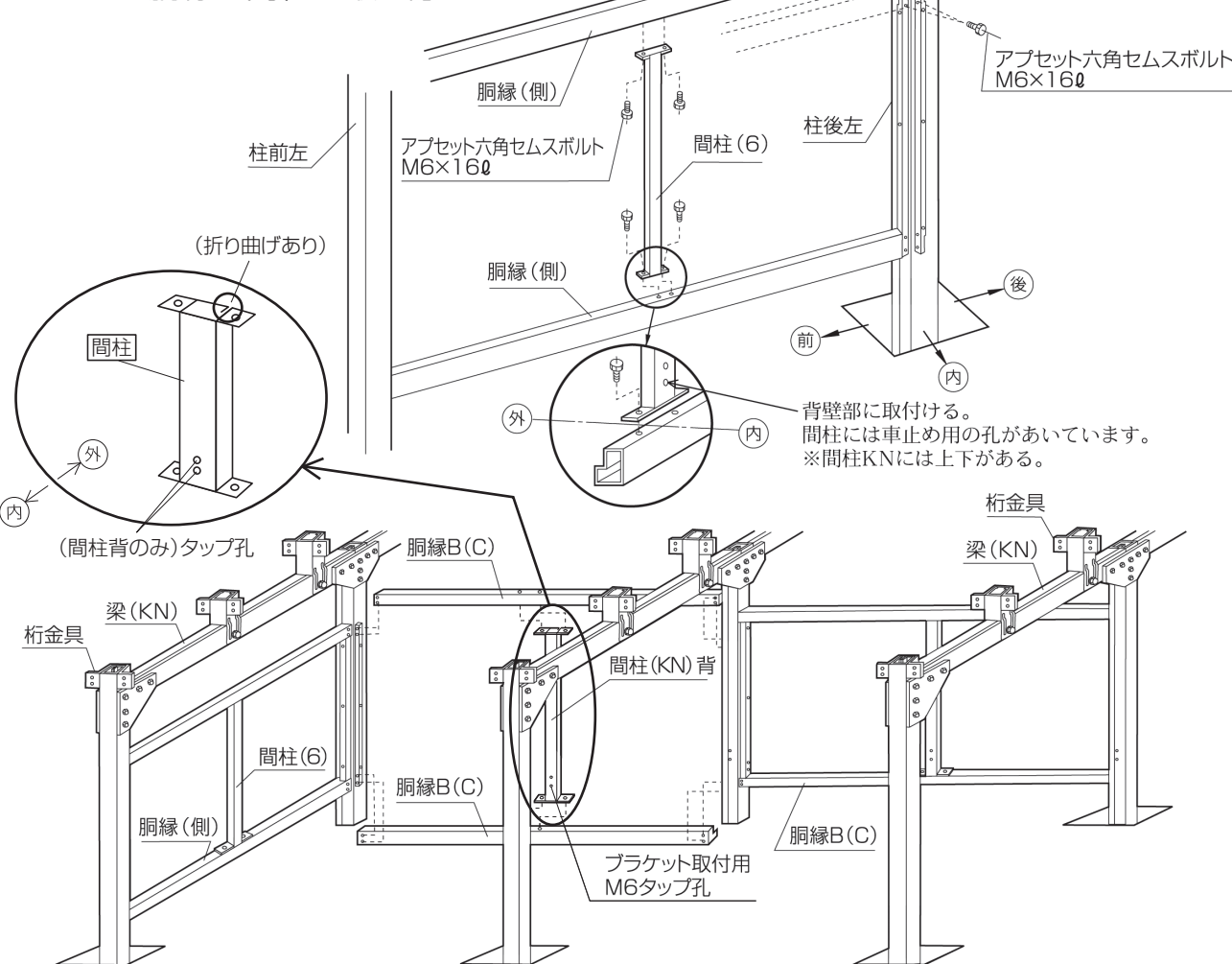
4 柱と梁の連結

1. 柱と梁を三角プレートではさみ固定します。
2. 束金具(KS)及び束金具(MA)に桁金具を取り付けます。



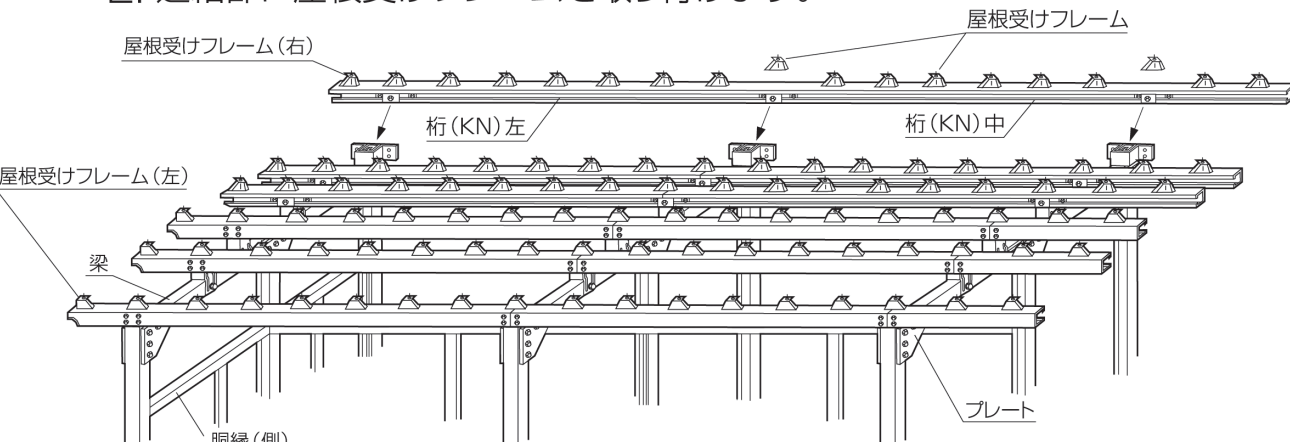
5 胴縁、間柱の取付け

1. 額縁に胴縁を取り付けます。
2. 胴縁に間柱を取り付けます。



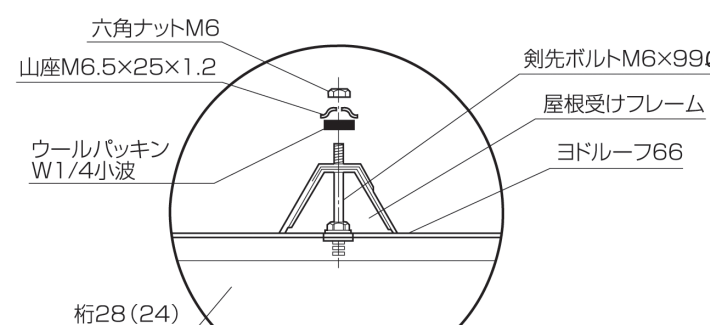
6 桁の取付け

1. 桁を取り付けます。
2. 連結部に屋根受けフレームを取り付けます。



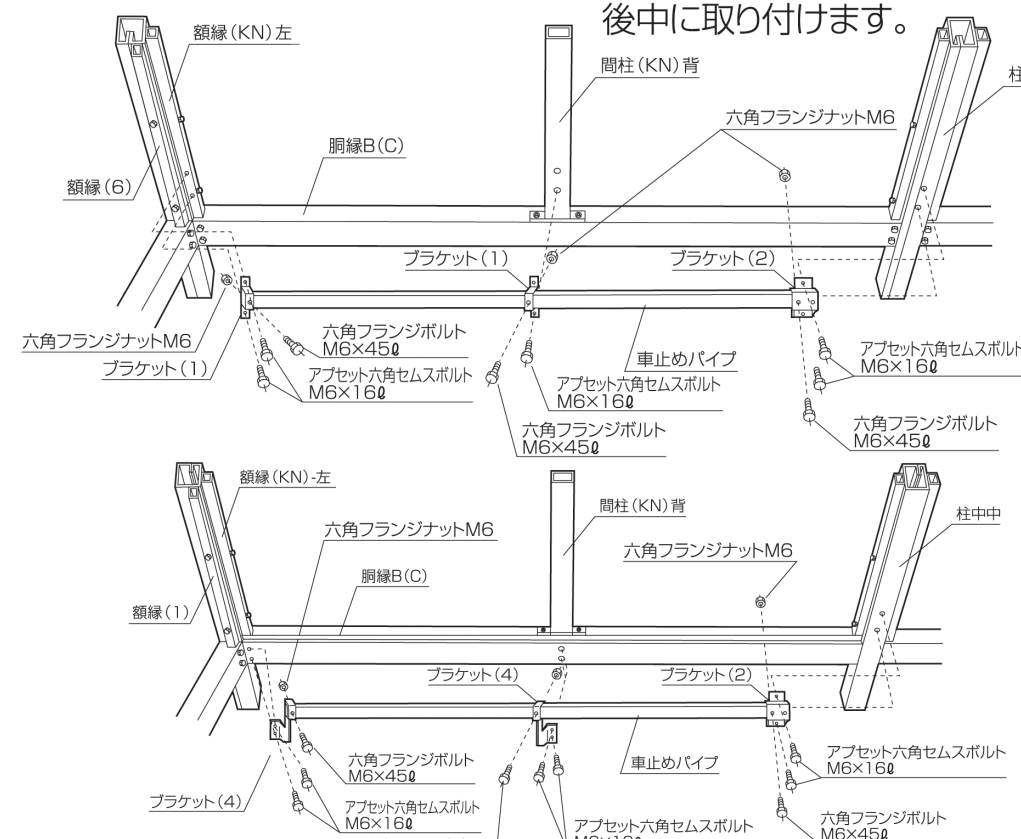
7 屋根の取付け

1. 屋根を左側からのせます。
 2. 右図を参考に止結します。
- ※この時両端はまだ止結しません。(ケラバと同時に止結する為)



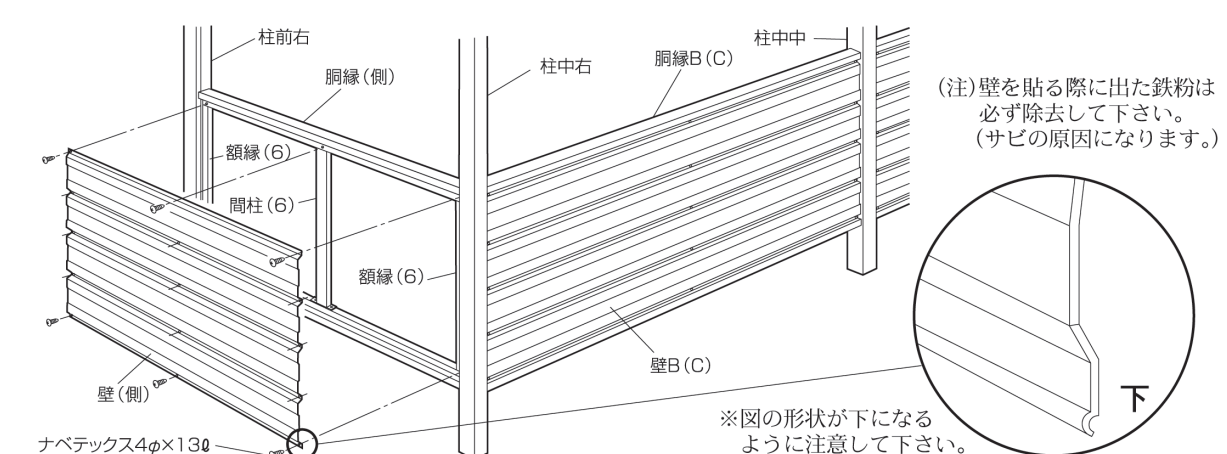
8 車止めパイプの取付け

1. 車止めパイプにブラケットを取り付けます。
2. 車止めパイプを額縁KN、間柱KN及び柱後中に取り付けます。



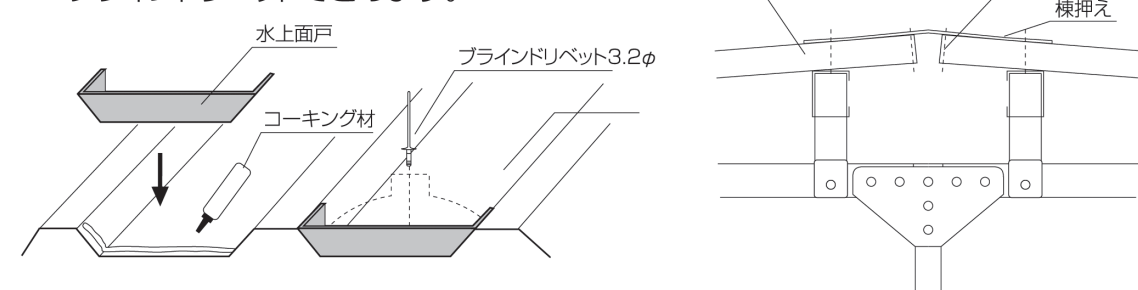
9 壁の取付け

1. 壁を外側から貼り付けテックスで胴縁・額縁・間柱に固定します。



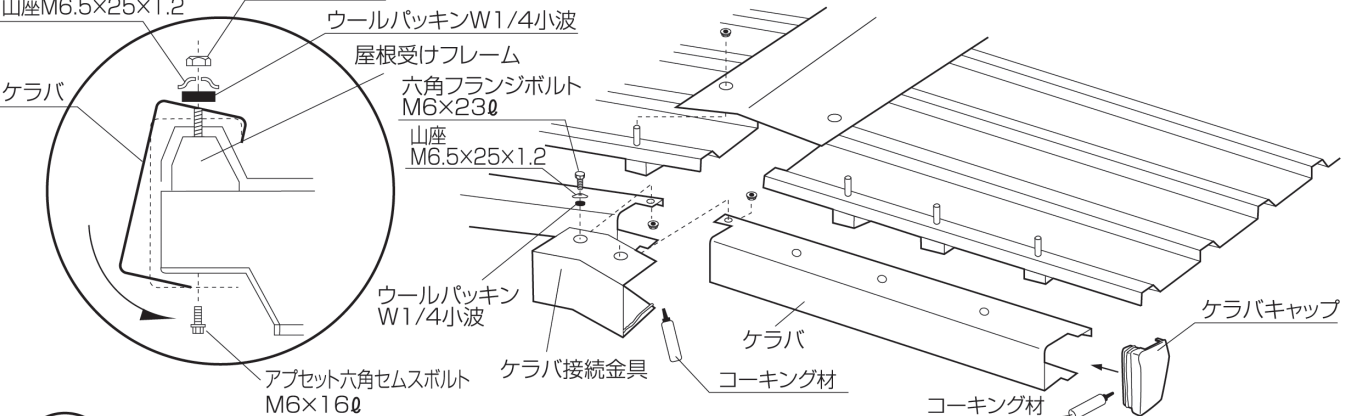
10 水上面戸の取付け

1. 水上面戸をかさね3.5φ孔をあけブラインドリベットでとめます。



11 ケラバの取付け

1. ケラバにケラバキャップを取り付けます。
2. 本体にケラバを取り付けます。



12 柱の高さ垂直を確認し、周囲にコンクリートを流しこんで下さい。

13 表面の完成図を参考に銘板をはり付けて完成です。

※ボルトのゆるみを再度確認して下さい。